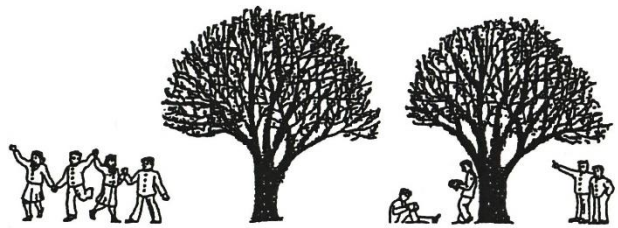


2本のケヤキ

第162号 (令和7年9月1日)



ぐんまインクルーシブフェスタ2025

8月4日(月)にイオンモール太田で「ぐんまインクルーシブフェスタ 2025」が開催され、本校は、作業製品販売

・ステージ発表・トークセッションに参加しました。

作業製品販売では、木工班、被服班、陶芸班、コンクリ

ート班で作った製品を

生徒が一般の方々に

販売しました。販売担当

生徒は丁寧な言葉づか

いで丁寧な接客をし、

当日用意した製品はほ

ぼ完売となりました。



ステージ発表では、本校生徒(3学年希望者)と大泉

高校生徒(希望者)、総勢約30名による「こうようソーラ

ン」のコラボレーションパフォーマンスを披露しました。

大泉高校生徒は、本校の伝統である「こうようソーラ

ン」の動画を繰り返し

見ながら練習を重ね

て、本番を迎えました。

同じ衣装(はっぴ)を身

にまとい、両校の

一体感が伝わってくる

ステージでした。



トークセッションでは、聾学校・伊高特・太高特・渡良瀬

・桐生清桜高校・大泉高校の6校の代表生徒が「ダイバ

ーシティ」「インクルーシブ社会」「違いの尊重」「意見の

尊重」「安心して過ごせる場所」など、様々なテーマにつ

いて意見を述べました。本校から参加した生徒会長の

江口結登さんは、司会からの質問に的確に堂々を回答し、

とても立派でした。生徒

の皆さんからは「現在、

インクルーシブな社会

は実現されていない。」

という意見が複数出さ

れました。



生徒たちの率直な意見を聞き、今回のようなイベントや

学校行事、交流及び共同学習、情報発信等を通して、

小さなことからコツコツと意識改革していくことが学校の
役割であると痛感しました。

※ダイバーシティとは、「多様性」という意味です。組織や
集団において、性別、年齢、人種、国籍、宗教、性的指向、
障がいの有無、価値観、働き方など、さまざまな違いを
持った人々が共存している状態を指します。

※インクルーシブ社会とは、年齢、性別、国籍、障がいの
有無、性的指向などに関係なく、すべての人々が尊重さ
れ、社会の一員として排除されることなく、共に
支え合いながら生活できる社会のことです。

ファイトカップ2025

8月3日(日)に前橋総合運動公園で「ファイトカップ2

025」が開催されました。本校サッカー部を含む県内の5

チームが参加しトーナメントで優勝を争いました。今年は

猛烈な暑さのため長い給水タイムを設け、1試合20分で

行われました。サッカー部員たちは、暑さに負けず仲間

同士で声を掛け合い、必死にボールを追いかけて、他のチ

ームの人たちと交流を深めました。本校はベストチームワ

ーク賞を受賞し、バニーズ群馬FC ホワイトスターの選手

のサイン入りボールをいただきました。



PTA支部集会(ボウリング大会)

7月26日(土)、8月2日(土)にドリームスタジアム

太田で「PTA支部集会(ボウリング大会)」が

行われました。ストライクやスペアが出るとハイタッチをし

て喜んだり、親子でスコア

の勝負をしたりと、生徒た

ちにとって夏休みのよい

思い出のひとつになったよ

うです。

